

いもち病（葉いもち）情報第3号

令和元年7月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

県内多数の地域において葉いもちの感染好適日がありました。
穂いもちの発生に注意しましょう。

1 葉いもち感染好適条件の出現状況

7月2日から16日にかけて、県内各地で感染好適日が出現しました。特に、岡崎と稲武では、期間中にそれぞれ4回の感染好適日を記録しました（表）。

2 発生状況

7月上旬の巡回調査（157ほ場）では、2ほ場で葉いもちの発生を認めました（発生ほ場率（本年1.3%、前年0.0%、平年3.7%）、発病株率（本年0.03%、前年0.00%、平年0.26%））。葉いもちの発生ほ場率、発病株率とも平年並みの状況でした。

3 今後の見込み

名古屋地方气象台7月17日午前10時33分発表の週間天気予報によれば、向こう1週間（7月18日～24日）は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、最高気温はおおむね平年より低くなり、期間の初めはかなり低いところがある見込みです。したがって、本病の感染に好適な条件が続く可能性があります。穂いもちの常発地で発生が心配される地域では、使用時期や回数に注意して、オリブライト1キロ粒剤または、ウンカ類と斑点米カメムシ類対策を兼ねてフジワンラップ粒剤やイモチエーススタークル粒剤などで防除しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果（7月2日～7月16日）

日付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
7/2	●	5	7	②	5	7	5	6	7	6	3
7/3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/4	6	2	3	4	●	5	6	2	7	8	●
7/5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/6	—	9	2	9	④	●	1	—	—	2	—
7/7	6	3	●	2	7	●	7	—	—	●	●
7/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/9	—	—	—	3	—	—	—	1	3	8	—
7/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
7/11	6	6	5	3	—	—	—	—	—	—	—
7/12	—	7	9	3	9	●	6	—	4	8	④
7/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/14	5	4	6	6	6	6	6	3	7	7	7
7/15	●	●	5	●	6	2	3	●	5	7	●
7/16	8	2	●	7	9	●	●	●	●	●	●

- ：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）
 - ①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
 - ②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
 - ③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）
 - ④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）
- 数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数
- －：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）
 - ？：判定不能